



宮城学習センターでは、学生同士の交流や直接教員から指導を受けられる貴重な学び場として、演習形式の課外授業ゼミを開講しています。

受講希望の方は、右のQRコード（Google フォーム）よりお申込みください（先着順受付）。



お申込み時に以下①～④をお知らせください。

①ご希望のゼミ名 ②お名前 ③学生番号 ④メールアドレス

※④は休講や日程変更の連絡の際に使用しますので、普段ご利用のメールアドレスをお知らせください。

受付期間 4月19日 9:30～4月26日 17:30



前学期から引き続き受講を希望される方もお申込みが必要です。

「地域で『自分らしく』生きる」とは ～地域包括ケアシステムの切り口から考える

加藤 由美 先生

日時：第2・4木曜日
14:00～15:30

初回：5月16日（木）
※初回のみ第3木曜開講
（第2回は5/23）

定員：10名

地域包括ケアシステムとは、「重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」仕組みと定義されています。ここでいう「自分らしい暮らし」とは、どのような暮らしでしょうか。地域で「自分らしく」生きる≡生き切る上で、あなたにとって大切な事柄は何だと思えますか。これらの問いに「正解」はありません。ゼミでは、地域包括ケアシステム及びその関連領域を学びながら、「地域で『自分らしく』生きる（≡生き切る）」ことを各自が自分事として考え、検討します。検討のたたき台には、小堀鷗一郎著「死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者」を用います。

【学生が用意するもの】

小堀鷗一郎『死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者』みすず書房、2018年5月1日発行、ISBN：978-4-622-08690-1

原爆被害者の人生にわたる心の傷と心の支え

中嶋 みどり 先生

日時：第3火曜日
14:00～15:30

初回：5月21日（火）

定員：15名

1945年8月の原爆投下により、被爆者は無惨な世界を目にし、自身も負傷したり、差別を受けたり、健康不安を抱え続けた人もいた。本ゼミでは面談事例をもとに①このように悲惨な体験がありながらも、被爆者は何を考え、何を支えにどのような人生を生きてきたか、②何を言い残したいか、未来に伝えたいかを皆で考察する。災害などトラウマティックな体験が起こる昨今、日本人として人生の先輩の言葉から主体的に学ぶゼミである。

【備考】

非常に悲惨な情景・体験を扱うため、精神的不調のある学生は、受講を避けてください。

1回目に面談事例等の資料を配布します。2回目以降、予習で必ず読んでから参加のこと。

西洋美術への招待

尾崎 彰宏 先生

日時：第2火曜日
12:30～14:00

初回：5月14日（火）

定員：15名

このゼミでは、西洋美術の歴史を通史的に扱いながら、その時代の美術、思想、社会の関連について考えていく。パワーポイントを使用する。なお、参考文献などは授業の中で適宜指摘する。授業はどのどこからでも、どのタイミングからでも参加することができる。

人文社会自主研究ゼミ

尾崎 彰宏 先生

日時：第4火曜日
12:30~14:00

初回：5月28日(火)
定員：15名

2021年後期からはじめたゼミであり、今年度も引き続き以下のように行う。受講生が勉強していること、考えていることを発表してもらい、それに基づいて参加者を交えて議論するものである。学習は、受動的に学ぶだけでは、深まっていけない。自分で発見した問題を検討し、人に伝える努力をすることはじめて、どういう点が自分ではわかっていないかが理解され、新たな課題がみえてくる。このゼミは、発表希望者がいる場合に開講する。このゼミは各回で独立しており、どこからでも参加可能。

事例で考える民法・消費者法 ～不動産取引と消費者

栗原 由紀子 先生

日時：第1・3金曜日
14:00~15:30

初回：6月7日(金)
定員：20名

こちらで用意した裁判例を素材に、法律上の問題意識を喚起し、これに関する民法や消費者の法理や制度について解説します。当該事例の判決要旨を読みながら問題解決の筋道を講義のなかで一緒に考え、明らかにしていきたいと思います。今期は、土地建物等、不動産取引に係る消費者問題を考えていきたいと思います。具体的には、原野商法、欠陥住宅の問題、耐震偽装事件など検討していきます。

【学生が用意するもの等】

学習用六法（ポケット六法、デイリー六法、法学六法など）。民法や消費者の教科書・入門書（教科書や入門書等の紹介は初回に行います）。

宮沢賢治の童話を読む

佐藤 伸宏 先生

日時：第1・3木曜日
10:30~12:00

初回：5月16日(木)
定員：20名

このゼミでは、宮沢賢治の童話を取り上げて、読み進めていきます。それらの作品は、子供のために書かれた童話ですが、さまざまな読み方を可能にする、豊かな奥行きを備えています。そのような賢治の童話について、細部の表現に留意しながら本文を丁寧に読むことをとおして、また自由な意見交換を行うなかで、その魅力や面白さを確かめてゆくことにします。本年度第1学期のゼミでは、使用テキストに収録されている「セロ弾きのゴーシュ」を初めに取り上げ、続いて「銀河鉄道の夜」を読むことにする予定です。

【学生が用意するもの等】

テキストは宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』（新潮文庫）を使用します。各自で入手して下さい。

人間とは何か

戸島 貴代志 先生

日時：第2・4水曜日
10:00~11:30

初回：5月8日(水)
定員：20名

フランスの哲学者アンリ・ベルクソンのいう「最も基本的なものの見方」を紹介し、それをもとに人間とは何かについて考えます。テキストはアンリ・ベルクソンやヴィクトール・フランクルの著作の日本語訳を用います。授業は教員の説明を中心に進めます（参加者のみなさんには哲学用語の知識はほとんど必要ありません）。世界は見えるとおりに存在しているのか、そうでないとしたら私たちはどのような世界に生きているのか、そして生きるとはどういうことか等、こうしたことについてみずから考える姿勢を身につけることを目指します。

【学生が用意するもの等】

使用するテキストはベルクソンの『思想と動くもの』およびフランクルの『人間とは何か』です。使用する箇所は授業時に配布します。

災害の記録を読む ～明治 22 年水害と仙台・宮城～

川内 淳史 先生

日時：第 1・3 木曜日
15:00～16:30

初回：5 月 2 日（木）
定員：20 名

このゼミでは、身近な地域の歴史資料を読み解きながら、当時の社会について学んでいきたいと考えています。

前学期に引き続いて、明治 22 年（1889）9 月に宮城県下を襲った水害の記録を読みます。当時書かれた記録の写真版（コピー）を受講者と一緒に読み解き、当時の被害の様相や、災害に遭遇した人々について学んでいきたいと思ひます。

ゼミで読むテキストについては、こちらで用意いたします。比較的読みやすいテキストを用いますので、古文書解読の経験の無い方も歓迎です。また、前学期の続きを読みますが、初回授業ではこれまでのおさらいをしますので、今学期初めて参加される方も大歓迎です。

【学生が用意するもの等】

授業に使用するテキストは、こちらで用意します。参考文献としては以下のテキストがあります。（当日用意する必要はありません）

天野真志『記憶が歴史資料になるとき—遠藤家文書と歴史資料保全』蕃山房、2016 年

魚の雑学

片山 知史 先生

日時：第 3 金曜日
10:30～12:00

初回：5 月 17 日（金）
定員：25 名

日常的に食している魚について、その生物としての特徴を知ることによって、もっと美味しくいただけるのではないのでしょうか。代表的な以下の 5 つの魚類について魚類学、生態学の視点で学び、魚の雑学を蓄えてみませんか。

- 1 イワシの仲間
- 2 ウナギ・アナゴの仲間
- 3 サケの仲間
- 4 サバの仲間
- 5 ヒラメ・カレイの仲間

【学生が用意するもの等】

『日本の魚 系図が明かす進化の謎』（中公新書）※電子書籍等でご用意ください。
上野輝彌、坂本一男 2004 年 820 円＋税

「地球と宇宙のサイエンス」

小原 隆博 先生

日時：第 2・4 水曜日
14:00～15:30

初回：5 月 8 日（水）
定員：15 名

昨年度に引き続き「地球と宇宙のサイエンス」ゼミを開講します。

受講生は、「地球」や「宇宙」から、不思議と思うテーマを選び、自ら調べて、その結果を発表し、ゼミ参加者全員で議論しながら、共通の理解へと繋げていきます。

昨年度、受講の皆様、毎回、大変活発なゼミを行いました。引き続き、皆様の参加を、お待ちしております。新規の方、大歓迎です。

【学生が用意するもの等】

ゼミ生が興味あるテーマについて調べるとき、参考になる資料など、こちらからも提供します。

ゼミ生のテーマ選びの参考文献として、例えば、以下の図録やテキストがあります。

★『よくわかる宇宙と地球のすがた』（理科年表シリーズ）丸善出版、初版 2010 年

★『地学図録（視覚でとらえるフォトサイエンス）』数研出版、初版 2016 年、毎年改定

課外授業ゼミを受講される皆様へ

- ・課外授業ゼミは単位にはなりませんのでご注意ください。
- ・授業形態は講義室での対面形式です。
- ・受講当日は、宮城学習センター2階出入口に掲示している「本日の部屋割り」で教室をご確認いただき、そのまま教室へ入室してください。
- ・単位認定試験期間中（7 月 14 日（日）～7 月 22 日（月））は、ゼミは休講となります。